

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年11月25日

計画の名称	岡山県における安全で快適に生活できる建設海岸づくりの推進（防災・安全）												
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）										重点配分対象の該当	○	
交付対象	岡山県												
計画の目標	平成16年に既往最高潮位を記録した台風16号や23号などにより浸水被害が発生した海岸について、高潮対策事業を実施し、県民の安全安心を確保する。 岡山沿岸海岸保全基本計画（H26.3）に基づき、高潮対策事業・老朽化対策事業・津波対策事業を実施し、地震時等の海岸保全施設の安全性向上を図り、背後地住民が安心して暮らせる地域社会の基盤を整備する。 東日本大震災、南海トラフの巨大地震を踏まえ改訂した岡山沿岸海岸保全基本計画に基づき、老朽化調査を実施し対策が必要な海岸を抽出する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	4,042	A	4,042	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	・高潮対策により、H16年と同規模の高潮が発生した場合における浸水家屋解消、・老朽化対策により、海岸保全施設が破損・倒壊した場合における浸水家屋解消 高潮・津波・老朽化対策による浸水が解消される浸水家屋数	0戸	0戸	522戸
2	・津波又は高潮発生時の防災機能の確保及び地域住民等の避難体制の充実・強化の推進 高潮・津波・老朽化対策による浸水が解消される浸水面積	0ha	0ha	25ha

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H27	H28	H29	H30	H31				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
海岸事業	A09-001	海岸	一般	岡山県	直接	岡山県	-	-	三幡九幡海岸高潮対策事業	耐震護岸工 L=1800m	岡山市	■	■	■	■	■	1,890	47.5	-	
	A09-002	海岸	一般	岡山県	直接	岡山県	-	-	岡南海岸高潮対策事業	耐震護岸工 L=750m	岡山市	■	■	■			500	26.9	-	
	A09-003	海岸	一般	岡山県	直接	岡山県	-	-	赤崎海岸高潮対策事業	耐震護岸工 L=643m	倉敷市	■	■	■	■	■	572	128.9	-	
	A09-004	海岸	一般	岡山県	直接	岡山県	-	-	後閑西海岸高潮対策事業	耐震護岸工 L=800m	玉野市	■	■	■	■	■	580	4.4	-	
	A09-005	海岸	一般	岡山県	直接	岡山県	-	-	岡山県海岸堤防等老朽化対策緊急事業	長寿命化計画策定	県内全域	■	■	■	■		120		-	
	A09-006	海岸	一般	岡山県	直接	岡山県	津高	水国	岡南海岸津波・高潮危機管理対策緊急事業	耐震補強工L=400m、浸水想定区域調査	岡山市				■	■	380	26.9	-	
												小計						4,042		
												合計						4,042		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
岡山県	令和3年11月
	公表の方法 岡山県のウェブサイトにより公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	計画期間内に高潮対策事業が完了した海岸では、その想定浸水地域（11ha）における浸水防止及び家屋（20戸）の浸水被害防止が図られたことにより、高潮から人命及び資産を保全することができ、県民の安全で快適な生活の確保に資することができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	計画期間内に高潮対策事業が完了予定であった海岸が事業遅延により完了できなかったが、そのような海岸でも施設整備を着実に進めることができたため、徐々に危険性が排除されつつある期待から、高潮被害を受けた住民等の精神的被害の軽減に寄与できたものと推察される。

○特記事項（今後の方針等）

高潮による浸水被害の解消を図るため、引き続き、高潮対策事業等を推進し、海岸の防護機能を高め、県民が安全で快適に生活できる建設海岸づくりを推進する。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	浸水解消家屋数（戸）	
	最終目標値	522戸
	最終実績値	20戸
2	浸水解消面積（h a）	
	最終目標値	25ha
	最終実績値	11ha

社会資本整備総合交付金計画 位置図

